

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	世界保健機関分担金		担当部局	大臣官房		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和27年度		担当課室	国際課		堀江 裕	
会計区分	一般会計		政策・施策名	施策目標X-1-1 国際機関の活動への参画・協力や海外広報を通じて、国際社会に貢献すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	世界保健機関憲章第56条		関係する計画、通知等	—			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界保健機関(WHO)を通じ、「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的として国際協力を推進している。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	世界保健機関(WHO)は、世界のすべての人々ができる限り高い水準の健康に到達することを目的として設立された国連の専門機関であり、平成25年5月現在194カ国が加盟している。世界保健機関(WHO)については、世界保健機関憲章第56条の規定により、割り当てられた分担金(義務的経費)の支払いを行うことなどにより、国際機関を通じた保健医療分野における事業を支援し、国際協力の推進に努めている。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	7,258	5,179	4,714	4,772	4,140
		補正予算					
		繰越し等					
	計	7,258	5,179	4,714	4,772	4,140	
	執行額	7,258	5,179	4,714			
執行率(%)		100	100				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	加盟国は、WHOの活動を通じて、世界のすべての人々ができる限り高い水準の健康に到達することを目的としており、保健医療分野における事業を支援し、国際協力の推進のため、加盟国数を参考指標とする。		加盟国数	193	193	194	194
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	総会及び執行理事会において事業活動や運営のための意思決定を行っており、総会及び執行理事会の決議数を活動実績とする。		総会及び執行理事会の決議数	17	1	16	27
			活動実績(当初見込み)	(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	0.07ドル(単純平均による世界の人口一人あたりのWHO通常予算)		算出根拠	474,609,150米ドル(2012年WHO分担金総額)÷70億5210万人(2012年世界の人口総数)=0.07ドル			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	分担金	4,772	4,140	分担率の変更に伴う減。			
	計	4,772	4,140				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国際機関を通じた国際貢献であり、国民のニーズがあり、国費を投入しなければ達成できないと考えられる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際機関への分担金の拠出は、国連において国に支払いが義務づけられているものである。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	国際機関を通じた国際貢献であり、優先度が高いと考えられる。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	「世界のすべての人々ができる限り高い水準の健康に到達すること」を目的に国連の専門機関として設立されたWHOを通じて国際社会に貢献するため、必要な経費であり、平成24年度は感染症、HIV/AIDS、マラリア及び結核対策等の各分野で有効に活用されるなど、世界の人々の健康水準の向上に寄与している。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本経費は、世界保健機関に対する加盟各国に義務づけられた分担金であることから、見直しの余地はなく、今後も予算規模は維持すべきであるが、国際機関に働きかけ、有効な活用がなされるように努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0551	平成23年	0501	平成24年	0443

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
4,714百万円

【国際分担金等】

世界保健機関(WHO)
4,714百万円

世界保健機関分担金
(世界保健機関憲章第56条)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 世界保健機関(WHO)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	世界保健機関加盟国に対し、WHO憲章第56条の規定により、日本政府に割り当てられた分担金	4,714			
計		4,714	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世界保健機関(WHO)	世界保健機関加盟国に対し、WHO憲章第56条の規定により、日本政府に割り当てられた分担金	4,714		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					